

第1回万博サクヤヒメ会議

2025大阪・関西万博 何かが出来る！ 私たちの未来図



提供：2025年日本国際博覧会協会

4年後にここ大阪で開催される2025大阪・関西万博。
いよいよ具体的な形が見えてきた今、改めて最新動向や開催地
関西の魅力を知ると共に、一人ひとりが、万博とどう関わるか、
何ができるのか、一緒に考えてみませんか？

日時：2021年5月26日(水) 14:20~17:00
(受付開始13:30~)

会場：りそな銀行 大阪本社 地下講堂
(大阪市中央区備後町2丁目2番1号)

地下鉄堺筋線・中央線「堺筋本町駅」(17出口)徒歩2分
地下鉄御堂筋線「本町駅」(3出口)徒歩6分

参加費無料

どなたでも参加いただけます

会場参加
先着200名

※オンライン同時開催

CONTENTS



司会進行
関西テレビ放送株式会社 アナウンサー 関 純子 氏
(第4回 大阪サクヤヒメ表彰 受賞)

第1部 [基調講演]

「2025大阪・関西万博に関する最新動向」



森 清氏 (もり・きよし)

公益社団法人2025年日本国際博覧会協会
理事・副事務総長

1963年生まれ。
東京大学法学部、ハーバード大学行政大学院卒業。
1986年通商産業省(現経済産業省)入省。
中東やアフリカを中心とする通商政策やエネルギー政策に11年、
インターネット関連の国際的な政策調整に3年従事した後、
2017年から近畿経済産業局長として、万博誘致の機運醸成に参画。
2019年から現職(経済産業省からの出向)。
京都府宇治市出身。

「関西が秘める魅力資産を今ここに」



玉岡 かおる氏 (たまおか・かおる)

作家 大阪芸術大学教授
第1回 大阪サクヤヒメ表彰 特別賞受賞

神戸女学院大学卒業。
神戸文学賞受賞作『夢喰い魚のブルーグッドバイ』(新潮社)で89年文壇デビュー。
舞台化・TVドラマ化された『お家さん』(新潮社)で第25回織田作之助賞受賞。
年1冊のペースで新作を出版し続けており、著書多数。最新刊は
『姫君の賦 ~千姫流流~』(PHP研究所)で、21年12月にオラ化が決定。
多数の連載を抱える執筆活動のかたわら、日本河川協会理事、
兵庫県教育委員、大阪市博物館機構理事など行政にも参画。
大阪芸術大学教授、関西大学客員教授。

第2部 [トークセッション]

様々な分野で活躍する「大阪サクヤヒメ表彰受賞者」によるトークセッション

テーマ 広がる・繋がる・語り合う あなたが見たい万博とは？

【活動発表】 大阪サクヤヒメSDGs研究会 / 万博サクヤヒメ会議

主催：大阪商工会議所 万博サクヤヒメ会議 後援：公益社団法人2025年日本国際博覧会協会
協力：株式会社アド・ダイセン 株式会社OSK日本歌劇団 株式会社サクラクレパス 株式会社りそな銀行